



森のなごま

2018年5月号

NO.121 (継続266号)

NPO法人かながわ森林インストラクターの会 <http://www.forest-kanagawa.jp> 発行人 久保 重明
〒243-0018 厚木市中町2丁目13番14号・サンシャインビル6階604号 Tel.046-297-0301・Fax046-297-0302



赤ちゃんと、ともにはぐくむ森づくり

平成29年度 成長の森 植樹会が開催されました

参加人数：188名 (内 こども73名) 場所：南足柄市内山 県立21世紀の森
日：2018年3月10日 (土) 天候：曇り時々霧雨

< インストラクターリーダー 西出 健一12期 >

神奈川県森づくりに参加して森の大切さを知って頂くと共に、木の成長を見守りながら子供の健やかな成長を願って行われる「成長の森」植樹会が、今年も「県立21世紀の森」で行われました。今年、この活動に賛同して記名板にお子様の名前を記載された数は195名でした。

予報では晴れの時間帯もあったのですが、ここは山間部でもあるためか、厚い雲に覆われて時折霧雨が降り、風が冷たく感じられる天候でした。今年度の植樹会場は、平成25年度から植樹が始まった見通しの良い山の斜面の一角です。10時頃から車で来られた方が次々に到着され、11時には送迎バスも到着して、会場は元気な声で溢れました。苗木は、昨年度から採用されたコンテナ苗の無花粉スギで、根の部分が生分解性プラスチック容器に入っていて、作業がやり易いのが特徴です。



コンテナ苗



受付



霧の中の植樹場所&風景

会場に家族が到着するとインストラクターが付いて、お子様の名前が書かれた記名板の前で記念写真のお手伝いをした後、現場で植樹方法を説明して、参加者の方に植樹をして頂きました。今年は苗木が400本用意されましたが、頑張って一人で何本も植える方もおられて、ほぼ全数が参加者の方によって植樹されました。



記名板の前で記念撮影



植樹の様子

植樹が終わった方は、ヒノキの丸太切りで香りの良いコースターを作ったり、森林館の展示を見たり、また、この日に合わせて開かれた無花粉スギのミニ講座に参加されていました。お昼には用意されたトン汁を頂きながらお弁当を食べた後、豊かな森の中を散策して過ごされました。天気には恵まれませんでしたが、植樹した苗木が、お子様と共に成長することを楽しみに、「どの位大きくなったか見に来ます」と言って帰られる方が多かったです。寒い中をお疲れ様でした。



丸太切りでコースター作り



無花粉スギのミニ講座



トン汁を頂きながら昼食

<参加インストラクター 黒川 敏史 14期>

「前日までの雨から一転晴れ」という天気予報は外れ、弱い雨と霧に包まれた幻想的な景色の「21 世紀の森」の会場で植樹会が行われました。あいにくの天気と寒さにもかかわらず、188名の方に参加していただき、予定通り400本の無花粉杉を無事植えることができました。

順次来所された、参加者1グループ(ご家族4名程度)にインストラクターが1名ずつ付き、記名板へ案内し記念撮影、参加者のご希望の植樹場所へお連れして、植樹の指導までを行いました。参加者お一人一本以上の植樹をしていただきました。

4年前に植樹された木が3m以上に育っていることに感慨深げな参加者や、「わたしがやるー」とおじいちゃんが掘った穴を埋め戻して重い鍬で掘るお子様など、ほほえましいシーンもありました。参加者の皆様は、慣れない作業にもかかわらず、お子さんと樹木の成長を祈りつつの植樹にご満足いただいた様子で、笑顔で植樹会場を後にされていました。



わたしがやるー(植える)

(写真撮影: 西出⑫、黒川⑭)

(公財)かながわトラストみどり財団主催「無花粉スギの育種とその植栽方法について(講義と実習)」

講師:自然環境保全センター研究連携課 主任研究員 齊藤央嗣氏

日時:3月4日(日) 9:00~15:30 場所:南足柄市内山 県立21世紀の森地内 参加:55名

< 鈴木 淳 14期 > (写真撮影:鈴木⑭、松本(広報&⑩))

3月初旬なのに4月下旬の暖かさの快晴の空の下(花粉も多く飛散していたと思われます)募集を大幅に上回る55名のインストラクターの参加があり、ブラッシュアップ研修が開催されました。

午前中は、県立自然環境保全センター主任研究員の齋藤氏から『無花粉スギの育種について』の座学研修でした。齋藤主任研究員は、無花粉スギ研究の第一人者で、メディアにも「花粉の救世主なるか」と紹介されています。(又、全国で初めて無花粉ヒノキを発見(2013年12月)されました。)



室内研修風景

講義の主な内容は

1. スギ、ヒノキの花粉と花粉情報
2. 花粉症対策品種の選抜と実用化
3. 造林とコンテナ苗

花粉症発症のメカニズム、花粉の大きさや形状、目視による花粉の予測方法、(今年の花粉量は昨年より多いようです。)気象要因との相関関係、林齢による花粉量、花粉対策品種の選抜方法、地域による花粉量の違い、コンテナ苗



プロジェクションの一部



コンテナ苗と植樹用具を説明する齋藤講師

の種類を紹介等々盛り沢山のお話をいただき、参加者も新たな気づきが多くあったと思います。参加者からもコンテナ苗の植栽時の深さや方向、挿し木と種の成長の違い等々多くの質問があり、有意義な講義となりました。

午後は、齋藤氏の指導の下、H25年成長の森で立派に育っている無花粉スギの雄花を採取してきて『無花粉スギの検定』を参加者全員で実習しました。有花粉と無花粉スギの雄花をそれぞれチャック付きの袋に入れペンチで潰し、ルーペや実体顕微鏡で違いを観察しました。初めてスギ花粉を見た方もいて大いに盛り上がりました。その後、『コンテナ苗の植栽実習』として不織布苗とスリット付き苗をクワやディンプル(窪み(穴)をつける道具)を使いH26年、H27年成長の森へ捕植を行いました。

最後に齋藤主任研究員から、「本日、研修を受け無花粉スギ、ヒノキについてしっかりと理解したと思います。」「今後のインストラクターとしての指導の中で役立ててほしい。」と激励の言葉をいただきました。



採取したH25のスギ(種はあるが無花粉)



実体顕微鏡



今回植樹する無花粉スギと近くで採取した有花粉スギ



H25年の最初の無花粉スギ場所で説明する齋藤講師



コンテナ苗植樹用ディンプル機



コンテナ苗を現場で説明する齋藤講師



捕植の様子

森林癒やし部会主催 「森林癒やし体験研修会」
春まだ浅いやどりの森に癒やしを求めて

日時:3月11日(日) 9:30~14:30 場所:松田町やどりの森水源林 参加:22名(講師含み)

< 文: 湯浅 鉄男 11期、写真撮影: 宮下 修一 10期 >

【 講師 : 真貝 勝 氏 ⑪、山下 剛史 氏 ⑪、笠原 かずみ 氏 ⑭ 】

風がまだ冷たい3月、やどりの森水源林に22人が集まった。癒やしの技法を学ぼうという森林癒やし部会の企画である。

午前中は集会棟で勉強会。山下部会長の概論に続いて、参加者は自己紹介と癒やしの原体験を一人ずつ話す。四国の夏休みのこと、みかんの匂い、木洩れ日など。笠原さんはフイトンチッド、真貝さんは具体的な活動方法を話した。

昼休みにはハーブティーが配られ、味覚を楽しませる。

午後はフィールドに出て癒やしのプログラムを実際に体験した。休憩棟前から見る山肌はまだ緑が少ない。呼吸法は新鮮な空気をたっぷり味わう。槐(えんじゅ)の森ではブルーシートに寝て、樹冠の揺らぎを見るが、ついうとうと寝てしまう。タカナシの森ではハモックのかけ方を学ぶ。せせらぎの音を木の枝を通して聞くのも楽しい。

半日を振り返って、参加者からは「自然観察との違い、参加者の感覚の引き出し方を、体験しながら学べた」、「アイスブレイクやウッドハグ(木を抱く)で参加者同士の交流を図っては」などの声が聞かれた。何よりも多くの若い人の参加が頼もしかった。この研修を機に、やどりの森水源林の多面的活用の一環として「森林癒やし体験」活動が安全に行われることを願っている。



講師の話に耳を傾ける



緑のグラデーションとせせらぎの音



ハンモックのかけ方を学ぶ

樹冠の揺らぎを眺める



< 参加者 >

高崎④、永野⑥、若林⑦、草野⑧、村井⑨、宮下⑩、
佐藤⑪、福島⑪、湯浅⑪、吉田⑪、小林⑭、
藤井世⑭、藤井敏⑭、相澤⑮、小野寺⑮、加藤⑮、
鶴井⑮、飛田⑮、妙泉⑮

平成29年度 第3回やどりきの森へ行こう!

テーマ:群生するミツマタの開花を観察

場所:やどりき水源林 日時:3月17日(土) 晴れ 参加:45名

早春のやどりきの森は、暖かい春を待ちわびていた生き物たちの躍動あふれる生命力で一杯でした。

<取材:広報 松本①>

広場でオリエンテーション



シカの頭部の説明



第一班 出発



早速発見。擦り付け跡のシカの毛



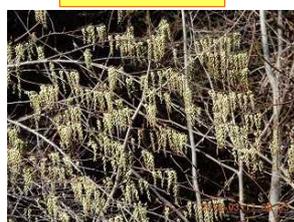
寄大橋付近のムササビ樹洞



ダンコウバイ



キブシが満開



オニシバリ(ナツボウズ)の説明



寄大橋
付近

水源林とダム五湖の説明



丹沢誕生と枕状溶岩の説明



咲き始めたフサザクラを身近に



フサザクラ花芽とウスタビガの繭



林道
コース

もう少しで到着です 100m



登り開始



川(水棚沢)を渡り



オオバヤシヤブシ?



成長の森
に向か
います

ミツマ
タ群
落と
成長
の森

ミツマタが多くなりました



ムササビ、モモンガのお話しと設置巣箱



ミツマタの群落



終点のH20/21年度の成長の森



昼食&エンディング



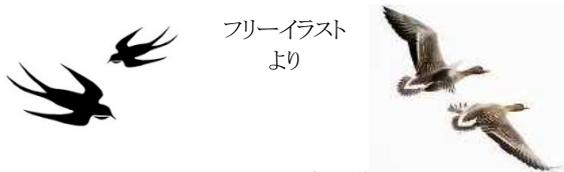
満開のミツマタと群落



来た経路を戻る

活動短信

今回の掲載は4/7~4/14です。
寄稿頂いた中には、紙面都合や寄稿タイミングで次号以降の掲載になるものもあります。



玄鳥至 4/5~4/9頃
つばめきたる
燕(玄鳥)が南から飛来する
第十三候 清明 初候

鴻雁北 4/10~4/14頃
こうがんきたす
雁が北国へ去っていく
第十四候 清明 次候

活動短信への投稿概略フォーマットと略語の説明
ページレイアウトは気にせずベタ書きで結構です。

写真もあれば1枚添付ください。

◆ 活動団体・活動名 等

- 日** 日付(できれば時間と天気も)
 - 場** 場所 (例: 相模原市緑区 長竹承継分収林)
 - 参** 参加者 人数
 - 県** 神奈川県 環境農政局 緑政部
水源環境保全課 水源の森林推進グループ
 - 財**(公財)かながわトラスとみどり財団、**看** 看護師
 - スタッフ** 例 小田原市森林組合XX様
例 川崎市公園緑地協会・XX様
 - イ** インストラクター (○数字:期) **研**:研修枠
- 以下の本文を概ね400字前後を目安として執筆ください
リーダーは責任を持って執筆者の選択と執筆後のチェック
をお願いします。(執筆者もお忘れなく!!)
活動終了後の速やかな投稿をお願いいたします。

◆ 自然観察会「21世紀の森の山野草観察・桜の観賞」

- 日** 4月7日(土)10:00~15:00、晴れ
- 場** 南足柄市内山 県立21世紀の森
- 参** 大人9名(男4名、女5名)
- スタッフ** 21世紀の森 平井様
- イ** L 杉崎⑩

森林館で挨拶やメンバーの紹介、スケジュール等の打合せ後、木材工芸センター周辺→内山林道(散策路含む)周辺→天然の森コース下部→ふれあいセンター(昼食)→どんぐりコース上部→運動広場→金太郎林間広場→森林館の行程で、折々に触れる動(食痕・糞)植物をたっぷり時間をかけ、五感で味わう。

本園は高度差が約300mあり、桜もソメイヨシノ、マメザクラ、オオシマザクラ、ヤマザクラと森林館周辺から内山林道沿い、天然の森コースと下から段階的に咲き昇り、例年なら少なくとも1期間は種々それぞれに満開のお花見が楽しめる小吉野なので、今回のテーマは山野草だけでは

なく、桜の開花を狙った企画でした。…が、残念なことに今年の桜は各駅には停まらず、超特急で通り過ぎてしまった。さらに前日の風雨でダメ出しまでくろう。桜の開花予測は難しいですね。でも、その分、移ろいは早く草原の春の妖精達は歓喜の声に満ち溢れ、木々の芽吹きも同時に始まって、「花と新緑」「春と初夏」花葉の仕組などルーペで覗く対象は多く、賑やかで心浮かれる楽しい観察会でした。

(記 杉崎 恒三 ⑩)

かながわしずくちゃんホームページは下記URLで見ることができます。



<http://www.pref.kanagawa.jp/cnt/f530038/p780119.html>

◆ キリンビール(株式会社)横浜工場

やどりき水源林での間伐及び自然観察活動

- 日** 4月14日(土)10:00~13:00、曇り
 - 場** やどりき水源林 キリンビールパートナー林他
 - 参** 社員及び家族 84名
 - 県** 橋本様、中田様
 - イ** L西出⑫
- 間伐:小野⑦、有坂⑧、上田⑩、松山⑩、山崎⑫、牧石⑭
自然観察:赤崎⑫、内野⑨、小沢⑨、真部⑬

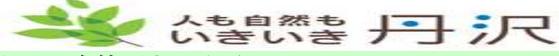
春を迎えて新緑と色とりどりの花々が目を楽しませてくれる、やどりき水源林で、間伐班:44人、自然観察班:40人に分かれて活動しました。間伐班は6班に分かれて、直径15~20cm、樹高10~15mのスギ、ヒノキに挑戦して、各班、1~2本の伐倒を行いました。多少の掛かり木はありましたが、ベテランの方も多く、作業は順調に進んで、全班、枝払い、玉切りなどの一連の作業を完結しました。皆さん、倒した時の達成感と、伐倒後に見上げた空の広がり、疲れも癒やされたと思いました。

自然観察班は、今回は前回の倍ほどの方にご参加いただき、4班編成となりました。やどりき水源林を初めて訪れていただいた方も多く、本当に嬉しかったです。お子様とご一緒にいらした方にも楽しんでいただけますよう、安全に配慮し、小学生のおられる2班はBコース、幼児のおられる2班は林道コースをご案内しました。春の山の花が咲く中、1時間ほど水源林の生物多様性と重要性をお伝えしながら散策しました。

その後、実際に鋸を使ってコースター作りでお土産を作製したり、寄沢で見つかる水生昆虫を紹介しました。盛り

だくさんの内容で時間が足りなくなってしまうほどでしたが、お帰りの際の皆様の笑顔が印象的でした。ありがとうございました。

(記 赤崎 さほり ⑫、西出 健一 ⑬)



丹沢の自然再生に取り組む 丹沢大山自然再生委員会のホームページをご覧ください。 <http://www.tanzawasaisei.jp/>

◆ GOOD OPEN AIRS myX

グッドオープンエアーズ・マイクス(神奈川トヨタ)

日 4月14日(土)10:00~16:00、曇り時々晴れ

4月15日は荒天につき中止

場 宮ヶ瀬湖畔エリア 小中沢園地 (清川村宮ヶ瀬)

参 2000名規模

イ L森本⑤、加藤①、村井⑨、福島⑪、

星野⑬、藤井(敏)⑭

神奈川トヨタ本社にあるアウトドアショップ・マイクスからの初オファー案件。従来のプリウス森木会活動とは別系統の総合アウトドアイベントに出店したものを。

採り上げた出し物は、

- ①丸太切りとコースターづくり、②葉巻笛、
- ③ロケットラワン、④緑の募金

の四つの推奨メニュー。

子どもは、おもてなし・賑やか・ファーストでアテンド。

元々、客層(顧客属性)がアウトドア好きの家族連れが多く大盛況で、存在感を大いに発揮出来た。

なお、4/15が春の嵐(強風)のせいで開催中止となったのが悔やまれる。次回も、挑戦をさせていただきたいと思いました。

(記 森本 正信 ⑤)



かながわ森林インストラクターの会は『緑の募金』の支援団体としても取組んでいます。全国で5番目/NPO法人で初めて委嘱されています。

森のめぐみの掲載は、今月号はありません。次掲載は6月号です。



『やどりきの森へ行こう!』

各回とも 小田急新松田駅北口8:30集合。
イベント当日は駅から水源林まで
バス利用(運賃各自負担:片道620円)

第1回 6月2日(土)

【緑したたる森で癒やし体験:募集30名】
歩道を歩きながらセラピー&リラックス
新松田駅出発8:40 → 新松田駅帰着14:10頃

第2回 11月17日(土)

【家族で森のお手入れ体験:募集10家族】
成長の森で間伐体験 間伐材でお土産づくりも
新松田駅出発8:40 → 新松田駅帰着15:10頃

第3回 3月16日(土)

【群生するミツマタの開花を観察:募集50名】
早春に咲くミツマタ観察は人気の定番コース
新松田駅出発8:40 → 新松田駅帰着14:10頃

(要事前申込)お申し込みは

NPO法人
かながわ森林インストラクターの会 へ

往復はがき、またはE-mailで先着順にお受けします。
開催日の14日前(土)締切、お申し込みが20名に満たない場合は中止となります。
住所: 〒243-0018 厚木市中町2-13-14
サンシャインビル604
E-mail: k-inst0981@friend.ocn.ne.jp

◇インストラクターの会ではホームページで
「やどりき水源林ニュース」を公開中
Webサイト
www.forest-kanagawa.jp/index.html



案内人[定期]

水源林のミニガイド
(1~2時間程度)

【案内日時】
毎週土・日曜日
(12~2月の冬期を除く)

【集合場所】
水源林ゲート前
(案内人実施時は看板が設置されます)

申込不要

アクセス

◆小田急小田原線 新松田駅北口またはJR御殿場線 松田駅南口から富士急湘南バス「奇」行き終点下車後、川沿いに上流へ徒歩40分。
◆赤い橋(奇大橋)の手前が水源林ゲートです。

やどりき水源林ミニガイド

4月のトピックス

ウツギ類の先陣をきってヒメウツギが咲きました。



(4/14)

5月の水源林

春の真ただ中、草花も満開、小鳥もキビタキ、サンコウチョウ、オオルリをはじめ活動が一番盛んな季節です。川遊びも良い季節です。

「森の案内人」情報

春&初夏の訪れ。案内人もはりきってお待ちしています！！

案内人がご案内します。案内と事故保険は無料です。

●実施時間：毎週土曜・日曜

AM10時・PM1時、1～2時間程度

●集 合：水源林入口ゲート前

●内 容：森林インストラクターが自然観察にご案内します。森林のしくみ手入れなどについて説明致します。参加自由、参加費無料

*10人以上の団体は事前に下記までご連絡ください。

●問合せ：(公財)かながわトラスト

みどり財団 TEL：045-412-2255

FAX：045-412-2300

●ホームページ： <http://www.ktm.or.jp>

<http://ktm.or.jp/contents/event/t27/yadrikil27.html>

E-mail: midori@ktm.or.jp

●やどりき水源林までの道順

小田急線新松田駅または JR 御殿場線松田駅下車、富士急湘南バス「寄(やどりき)」行き乗車約 25 分。バス下車後(案内板あり)川沿いに徒歩 35～40 分。

寄大橋の右横が水源林ゲートです。

イベント情報 & ご案内



◇ 森のなかま原稿募集 ◇

会員・読者の皆様から広く原稿を募集しています。

<広報全般についてのお問い合わせ>

松本 保

Mail: matsutamori@jcom.zaq.ne.jp

Tel: 090-7962-3168

<電子配信担当>

新) 笠原かずみ

Mail: happy_kumakuma711@icloud.com

Tel: 090-4137-9265

旧) 赤崎 さほり

Mail: s_akasaki-k_instructor@live.jp

Tel: 090-6150-6173

<メール・手書き原稿送り先>

【本誌】松本 保

〒246-0037 横浜市瀬谷区橋戸 3-46-17

Fax: 045-301-9401

電話連絡先: 090-7962-3168

Mail: matsutamori@jcom.zaq.ne.jp

【別冊】黒川 敏史

〒247-0066 鎌倉市山崎 2273-1-515

Tel: 080-5477-2206

Mail:

kurokawa.family@aa.cyberhome.ne.jp

【別冊は CC を】福島 正治 (事務局長)

〒214-0006 川崎市多摩区菅仙谷 3-1-1-204

Tel/Fax: 044-944-9423

Mail: fukky52000@yahoo.co.jp

森のなかまは過去号もご覧になれます。

(ホームページ) [http://www.forest-](http://www.forest-kanagawa.jp/3kiroku.html#kiroku01)

[kanagawa.jp/3kiroku.html#kiroku01](http://www.forest-kanagawa.jp/3kiroku.html#kiroku01)

(HP 担当: 井出恒夫)

編集後記

★1回目の森林探訪を無事開催できました。多くの方のフォローに感謝。貴重な経験をありがとうございます。

(赤崎)

★新緑の眩しい季節がやってきました。瑞々しい香りから元気がもたらえた気がします。

(笠原)

★別冊のネットワーク出番表もまとまり、平成30年度のインストラクター活動本格始動です。それにしてもネットワーク活動たくさんありますね。

(黒川)

★あつと言う間に、春が駆け足で過ぎてしまった。初夏がもう来ている。ちょっと温暖化が早すぎるんじゃないの? 酷暑の夏が心配です。

(吉田)

★今年は桜、藤、躑躅、水芭蕉等の花が咲くのが早いですが、山ビルの話しは皆さんからありません。結構な事です。できれば絶滅危惧種になってほしいです。

(松本)

■電子配信の担当が赤崎さん⑫から笠原さん⑭に移行しつつありますが、6月号(5月)までは赤崎さんにもフォローして頂きます。

年間通読のお申し込み

「森のなかま」年間通読をご希望の方は、郵便局備付けの郵便振替をご利用してお申し込み下さい。

郵便振替口座 00230-0-2454

かながわ森林インストラクターの会宛まで2000円をお振込み下さい。振替用紙には、必ず、住所、氏名を明記して下さい。振替用紙到着の翌月号から12回/1年間お届け致します。

編集人: 松本 保

事務局: 福島 正治

広報部: 大塚晴子 赤崎さほり

小川和恵 藪田栄哉 吉田郁夫

黒川敏史 笠原かずみ

支援: 伊藤恭造 大原正志 江頭淑子



神奈川県新聞社とかながわ木づかい協議会(神奈川県森林再生課)共催の『かながわ家づくりフェア2018』を今年も開催します。開催場所は、横浜駅直結、徒歩5分という最高の立地にある横浜新都ビル(そごう横浜店)内 2か所!

「水源環境保全・再生かながわ県民フォーラム(もり・みずカフェ) (神奈川の水源環境保全を守る取り組みをPR)も同時開催しております。(我が会のメンバーも参加しています)